



著者プロフィール

中田尚子（なかた・なおこ）

本名 大池尚子

昭和31年 8月20日、東京に生まれる

昭和54年 「濱」入会

平成6年 「濱」退会

「百鳥」入会、大串章に師事

編集部に参加

第1回「百鳥賞」受賞

平成7年 「百鳥」同人

平成12年 第7回「鳳声賞」（百鳥同人賞）受賞

平成14年 「百鳥」編集長に就く

俳人協会幹事

〈句集『主審の笛』より転載〉〈2003年9月15日時点〉

『主審の笛』（自選十五句）

中田 尚子

薄氷や遅刻を叱る朝が嫌ひ
帰国してシヨパンを弾けり雛の日
春渚笑顔はつきり見えてきし
桜貝拾ふ体のやはらかき
合格を決めて主審の笛を吹く
春耕のあと大海のごときかな
早苗田や芭蕉と會良の道があり
退屈の枇杷熟れてゐる校舎裏
大き手の漕げるボートに揺られるし
母の里素足で水辺歩きけり
水あそびして毎日が主人公
町ちゆうのひらがな読む子銀杏散る
船頭に抱へられたる七五三
生徒会役員主催大焚火
雪吊に水の匂ひの立ちのぼる